令和8(2026)年度　学校評価表

長野県岡谷南高等学校

学校教育目標(本校の生徒像)	重点目標(中・長期的目標)	
1 常に進歩のため問題をもってことにつく 2 常に成功の可能性を確信してことに当たる 3 常に協調融和の精神をもってことを行う	1 相談支援体制の充実拡大と、いじめや体罰の根絶、安心・安全な学校づくり 2 生徒各々の進路実現を見据えた学習指導と学習集団づくり 3 ICT機器の利活用による知識の定着と、思考力や応用力の涵養、実践的探究活動の充実 4 自律的な生活習慣の確立と、困難を恐れず自ら進んで挑戦する自主的な精神の育成 5 高校再編を見据えた地域協働型の教育活動の実践と、選ばれる学校としての魅力発信	
今年度の重点目標	進路指導について	1 個々の生徒の進路希望実現のために、学習習慣定着を含めたきめ細かい個人指導を実践する。 2 高大接続に係る現行入試制度の研究を行い、学年を超えた情報共有を行い、保護者へ情報が伝わるようにする。
	生徒指導について	1 南高生に相応しい身だしなみと生活を確立させる。 2 暴力行為といじめおよび類似行為を根絶する。 3 貴重品等の管理を徹底し、盗難・紛失防止を図る。 4 社会的マナーの向上を図る。 交通安全意識の向上、交通ルールを遵守、挨拶の励行
	生徒会活動 自主活動について	1 生徒会の自主活動を通じて、主体的な行動のできる人間性をはぐくむ。 2 生徒会の諸行事を企画・運営し、活動を活性化するとともに、その過程における生徒相互の協力・共同作業により南高生としての自覚と連帯感を養う。 3 生徒自らが学校生活の充実・改善を図る。 4 地域へ情報発信するとともに、地域社会に貢献する活動を推進する。 5 クラブ活動の活性化と応援意識の向上を図る。

領域	対象	実施項目／目標	評価の観点・方法
教育活動	進路指導	進路希望調査、生徒面談、保護者懇談	学級担任、教科担任への聞き取り調査による評価
		模擬試験の活用	
		共通テスト、高大接続等に関する職員の情報共有と研究	職員会等を通して、カリキュラムに活かすことができたか。
		進路講演会等による進路決定のサポート	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり，生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。
		「学習の手引き、進路ノート、進路の手引き、進路通信」の発行	
		出願、面接、小論文指導(3学年)	
		セミナーの実施	
	学力向上	補習、セミナー、テスト前学習等の実施	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。
		入試・模擬試験の分析と授業方法の改善	
		年内入試から一般入試まで進路実現への早期対策・準備	
		家庭学習時間確保のための取組み	家庭学習時間等調査、個人面談で評価する。
	研究・研修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の研究	生徒アンケートにより評価する。
		進路研究会(職員対象)の実施	職員アンケートにより評価する。
	教育課程	教育課程の検証および実態に合わせた改善	教務係、ビジョン委員会と連携し、検証・検討できたか評価する。
		進路実現のための生徒の希望に添った選択科目講座の編成	効果的な講座編成の見直しができたかを評価する。
	生徒指導	南高生にふさわしい身だしなみとなるよう指導する。	身だしなみの乱れはなかったか。
		いじめ・暴力行為の防止に努める。	定期的な面談や生徒アンケートを活用する。
		交通安全を徹底する。	自転車事故等の件数を最小限にとどめられたか。
		携帯電話、SNSの適切な使用方法を指導する。	携帯電話、SNSの使用にあたって問題はなかったか。
		無断アルバイトがないよう努める。	許可制であることを周知する。
		飲酒・喫煙・薬物防止の指導をする。	飲酒・喫煙はなかったか。
		盗難防止及び現金・貴重品の管理を徹底する。	現金・貴重品の管理を徹底できたか。
	生徒会活動	委員会活動の企画・運営と活性化、生徒会各種行事の企画運営	主体的に創意工夫のある企画運営ができたか。
		学校生活の改善に向けた取り組み	学校生活の改善に向けた意識が持てたか。
		南高祭の企画と運営	地域へのアピールと全校生徒が主体的にかかわっての企画運営となったか。
		地域貢献活動等の推進	積極的に地域事業等に関わる事ができたか。
		部活動の活性化および活動の広報　全校の応援意識の促進	入部率の向上と、活発な活動が持続的に行われ成果を上げることができたか。
学校運営	行事	強歩大会の企画運営	大会参加率を向上させ、すべての生徒が安全に活動でき、完歩率90%以上を目指す。
	授業公開	授業公開の実施	12月に公開授業週間3日を設定する。 これらの機会を通じ、参観者の要望・意見を十分に吸収し、それを授業に反映させることができたかどうか。 また、中学生や保護者に本校を理解してもらうことができたかどうか。
		体験入学の実施 本校の特徴についてわかりやすく説明し、多くの中学生に本校を志望してもらえるよう努力する。	参加した中学生に、本校の魅力を知ってもらい「よかった」「参考になった」と思ってもらえたかどうか。
	地域・他者との交流活動	地域の小中学校との交流活動	生徒会執行部をはじめ委員会やクラブなどによる地域事業への参加を促進することができたかどうか。
		地域で開催される行事への生徒の参加の促進	
	広報活動	学校公式Webページの管理・更新	Webページの更新を頻繁に行うことができたかどうか。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができたかどうか。
		教育活動や各種イベント等の情報発信	